

年末を迎えた12/14日本漢字能力検定協会の「今年の漢字」が発表されました。全国からの募集で一番多かった漢字が選ばれるとのことですが、今年は「金」が5年ぶり4回目の選出となったそうです。以前はデイサービスからも応募をしていたため皆さんに今年の漢字を聞きながら一年を振り返っていたのですが、久しぶりにお話を伺ったところ素敵な回答がありましたのでご紹介させていただきます。



「讚…コロナ禍で医療従事者やエッセンシャルワーカーなど頑張った人をたたえたい。好きな外出や楽しみを控えて頑張ったので自分で自分をたたえたい。」とのことでした。デイサービス特別賞を授与したいと思います。*ただし、「讚える」は常用漢字ではないため新聞では使われないとのことでした。

年末年始の感染対策について

静岡県の新型コロナウイルスの感染状況は第5波から不思議なほど急激な治まりが見られており、国評価レベル1の維持すべき状況となっています。しかし、ワクチン接種から時間がたって効果が弱まることや、気温が下がり感染が拡大しやすい環境となることで“第6波”が起きるおそれ指摘されています。11月には厚生労働省から社会福祉施設に面会及び外出の留意点として「可能な限り安全に実施できる方法を検討する」という方向性が示されており、密を避け・マスクの着用・日頃の体調管理などにより感染対策と生活の質を維持することの両立が求められています。



感染対策は新型コロナウイルスだけでなくこれまで流行していたインフルエンザなどの感染抑制にも効果を発揮していますので、年末年始は気を緩めることなく感染対策を行った上で楽しく過ごして頂きたいと思います。

(オミクロン株とは?) ウイルスの表面にある突起「スパイクたんぱく質」が30ほどと、これまでの変異ウイルスより多いことが分かっており細胞により結び付きやすいことから感染しやすく、抗体の攻撃から逃れる変異もあることが確認されています。コロナの変異株は当初は確認された国や地域名を名前につけていましたが、差別や偏見を避けるために2021年5月からギリシャ文字で名前をつけることが決定しました。英国株はアルファ株、南アフリカ株はベータ株、ブラジル株はガンマ株、インド株はデルタ株と呼ばれるようになり、今回はギリシャ文字15番目のオミクロンが付けられたそうです。

和松会デイサービスセンター(介護保険事業)での口腔ケアについて

歯は健康の土台だと言われており、食べた時の「味の感じ方」「食感」「栄養吸収のされ方」などが異なれば心身の健康状態に関わりますし、口の中の細菌を減らす事で細菌性肺炎の確立も下げてくれます。また、口腔内のストレスは脳にも伝わってしまい認知症状や転倒リスクにも影響すると言われています。



そんな歯の健康を守るのに大切なのが「口腔ケア」ですが、当センターでは月2回の歯科衛生士による口腔健診から、日頃の口腔ケアにつなげるように取り組んでいます。全体的に取り組んで頂きたいお手入れの方法は洗面台に掲示し、個別にお願いしたい内は個別カードを作成しています。予想以上に皆さん掲示物やカードに関心を持って取り組んで頂けていると思います。